

令和7年度 カウンセリング科学学位プログラム 入学試験

問題1

1-1.出題意図

問題文（英文）は、2021年にEuropean Psychiatryに掲載されたCOVID-19による心的外傷後成長（PTG）を調査した学術論文より抜粋・改変したものである。人類に大きな脅威をもたらした感染症が収束に向かいつつある中で、被害や困難の側面だけでなく、PTGの観点から回復や成長の側面についての検討が進められている。COVID-19の論文は数多く存在するが、その中でも本論文は、心理学領域において近年注目されている“PTG”を扱ったものであり、カウンセリング科学学位プログラムを志望する受験生にとって関連性が高く、英文の難易度も適切であると判断し、これを選定するに至った。

（1）は、英文全体を読んで内容から研究方法を推測する力を問う問題であり、英文の読解力と研究に関する知識の両面を評価することを目的としている。（2）は、第3段落で述べられている興味深い結果について理解できているかを問う問題である。（3）は、「期待に反して」という文から始まる第4段落の内容を正確に読み取れているかを問う問題である。いずれの設問も、一定量の英文を読み取り、要点を把握し、適切に要約する力を評価することを目的としている。

1-2.問題文と解答例

（1）この研究は何を目的としてどのような方法で行われていると考えられるか。上記の文章を読んで想定される研究の目的、方法について述べなさい（200字以内）。

COVID-19のような災害において心的外傷後成長（PTG）が発生するかどうかを検討することを目的に研究が行われている。研究方法は、ヨーロッパの中で最もCOVID-19の被害が大きかったイタリアを対象に、第一波の後にPTGの発生状況と関連が予測される変数（個人属性、ロックダウン期間、パーソナリティ、推察傾向やコーピング方法）を尋ね、それらの変数間の関連を検討している。

（2）PTGの発生において性差が見られたとあるが、その理由としてどのような考察が述べられているか、説明しなさい（100字以内）。

性差が見られた理由として、反芻などの認知スタイルの違いが言及されている。個人的な強みの認識の増加や社会的なつながりの重要性の認識など、建設的な問題を反芻する傾向が影響していると考察されている。

（3）下線①に予想外の結果であったと述べられているが、何が予想外の結果であったか説明しなさい（100字以内）。

ロックダウンの期間がPTGのレベルに影響すると予想していたが、その影響はPTGの新しい可能性の探求という側面を除いて見られず、トラウマの性質とパーソナリティ、個人の特性のほうにむしろ関連が見られたこと。

問題 2

2-1.出題意図

問題文（英文）は、2024 年に OECD が発表した雇用見通しの国別報告書（日本）より抜粋・改変したものである。この報告書では、日本の労働市場の状況を概観するとともに、2050 年までのネットゼロへの移行がどのように労働市場と労働者の仕事に影響し得るかを考察している。したがって、カウンセリング科学学位プログラムを志望する受験生にとって有益な題材であり、英文の難易度も適切であると判断し、これを選定するに至った。

（1）は、下線部①を日本語に適切に訳すことができるかどうかを問う問題である。（2）は、下線部②について、日本語で適切に説明できるかを問う問題である。（3）は、本文全体の内容を理解した上で、それを端的に表現しているものを選択できるかを問う問題である。

2-2.問題文と解答例

（1）下線①を和訳しなさい（200 字以内）。

日本ではグリーン主導型職業の就業人口に占める割合は OECD の加盟国の平均よりも高い一方、温室効果ガス集約度の高い職業の占める割合は平均以下である。これは、日本ではグリーン主導型職業に関連するスキルの需要が潜在的に高いことと、温室効果ガス集約度の高い職業の代替に伴うコストが低いことを示唆するものである。

（2）下線②は具体的に何を指しているか、本文に即して日本語で説明しなさい（100 字以内）。

各省庁（環境省、総務省、経済産業省および文部科学省など）が個別に運営している、地方自治体、地元企業、地域金融機関および大学を対象とした脱炭素化に関する研究プログラム。

（3）本文のタイトルとしてもっとも適切なものをア～ウのなかから選びなさい。

ア. Labour markets have been resilient and remain tight

イ. Real wages are now growing but there is still ground to be recovered

ウ. Climate change mitigation will lead to substantial job reallocation

正答：ウ

問題 3

3-1.出題意図

問題文（英文）は、個人セラピーとカップルセラピーについて述べたものである。カウンセリングの実践に関する内容であり、カウンセリング科学学位プログラムを志望する受験生にとって有益な題材であり、英文の難易度も適切であると判断し、これを選定するに至った。

3-2.問題文と解答例

（1）下線部①を和訳しなさい（100 字以内）。

その結果、カップルがお互いに真に耳を傾け、いつもの相互作用パターンを変えるのを助けることは、綱渡り芸人のバランス感覚と変わらない、バランス感覚を伴うことがある。

(2) 下線部②を和訳しなさい(100字以内)。

カップルセラピーでは、パートナーがいるところで対話するため、何を言うかだけでなく、どのような態度で話すかについても配慮することが、個人と話す場合よりも特に重要である。

(3) 下線部③について、本文に即して日本語で説明しなさい(150字以内)。

セラピストがカップルの前向きな側面に注目することは重要だが、その効果が発揮されるのは、カップルの両方がセラピストに自分たちの困難や苦しみがきちんと理解されないと感じたときである。つまり、セラピストが問題の深刻さを現実的に理解しているという前提があって初めて肯定的な側面への注目は有効である。